

市民の声とインターネット

吉村 順子

(junko@amulet.co.jp)

東京 江ノ島 北京

8月の午後の炎天下をものともせず、私は手に入れたばかりのMacintosh Duoをデイバックに詰め込み家をあとにします。めざすは東十条の築40年は経過しているかという木造家屋。そこで毎日何をしているかという、「東アジア女性フォーラム」というNGO(Non Governmental Organization: 非政府組織)の事務局員として事務所番をしています。

私がこのNGOに参加するきっかけになったのは、昨年の秋ごろからGlobal-Brain メーリングリストで「1995年9月に中国の北京で開かれる『第4回国連世界女性会議』に向けて、隣国の日本から積極的に情報提供していくにはどうしたらよいか」という問題が提示されたことに始まります。年が明け、APC (Association for Progressive Communications)の会員ネットワークであるカリフォルニアのIGC(Institute for Global Communications, igc.apc.org)に『世界女性会議』に関する国連文書が多数登録されているので、それを国内の女性関連団体に提供していったらどうだろう、という提案がありました。

私はこうした具体的な行動を通じて、インターネットにほとんど流通していない市民の立場から日本の現状を発信していくことができるようになる、と確信を持ったのです。また、国内の大多数のNGOがコンピュータに興味のある個人を通じてコンピュータネットワークに接している状況を、今後団体として活用していく布石になりそうな可能性も感じました。

女性をテーマにした会議なのでできればコーディネータも女性のほうがいいね。どうして女性に限定して考えなければならないのか。という男性同士のやりとりを見るに及び「やれるときは自分でやらなきゃ」と、自分でコーディネータを買って出たわけです。

「東アジア女性フォーラム」は『世界女性会議』へ向けて東アジア地域の女性からの提言書をまとめるために今年5月に結成されました。10月20日から神奈川県江ノ島で5か国3地域の代表(約170名)が集まって本会議が開かれます。その準備のために国内では100名近い女性を中心になって運営しています。まず16ある分科会への報告書作成。それを英文へ翻訳。さらに海外からの報告書を日本語に翻訳。また英語以外で書かれたもの

は、日英両方に翻訳しなければなりません。その他オブザーバを含めた全参加者の分科会への参加調整や会場の設定など、あらゆる事がほとんどボランティアに頼った運営となっています。

さて、私がMacを手に入れて最初にしたのは、内蔵のFAXモデムからきれいなファクスを送信するためフォーラムのロゴマークをお絵描きソフトで作り、ファクスカバーにはりつけることでした。そして数回事務局メンバーにMacからファクスを送ったところ、自分のパソコンからファクスを送りたいという人がすぐに3人も出たのです(1人は自力で実現)。いまNGOの主要なメンバーはほとんどファクスを所有しています。受け手のいるメディアにはみんな敏感で、情報を出しやすくするためにとても努力しています。これだけでも私がMacを毎日持ち歩いた甲斐は十分ありました。

さあ、FAXモデムが普及したら次の課題は電子メール。ファクスはイメージですから受信後の再編集は困難です。作文した人と印刷する人が離れたところにおいても作業が迅速に進められることをアピールして、最初はテキストで、それからなるべく速くバイナリメールでワープロソフトの文書を送ったり、受け取ったりできるようにしたいものです。

事務所での通信教室を望む声もあるので、なるべく早く実施したいと思っています。こうした活動と並行して、東アジアの女性たちが協力して行動していることを、インターネットにリアルタイムでアピールできるよう準備を進めています。また、この原稿が皆さんの目に触れるころには、大量の報告書が事務所のコンピュータに蓄積され、電子メールで翻訳を引き受けてくださった方のところに送られているはず。(これらの活動に興味のある方は右上のアドレスまでご連絡ください。お待ちしております。)

環境や人権の問題を扱っているNGOがブロードキャスト性にすぐれたインターネットを活用したらどうなるのか。インターネットを通じて社会にどう影響をあたえ、それがどう実際の行動にフィードバックされるようになるのか、興味は尽きません。このコラムでは、インターネットにまつわる市民運動やNGOの話題を国内外問わず紹介していく予定です。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp